

# あたばつる

創意を生かした生氣あふれる魅力ある学校

騎西小学校教育目標 進んで学ぶ子 思いやりのある子 明るく元気な子

## 人権教育を大切に!

### 「友達との絆」

六年 板倉 美桜

「なぜ私はここにいるのだろう。」

ふと、そう思つことがあります。

あの日、三月十一日に東日本大震災が起きました。私は生まれて初めての体験でした。とても強く強いけれど、すぐ怖い夢を見ているようでした。

その日、家に帰ってはみたものの、道路や庭は、地割れが起き、家は停電や断水をしていました。

家の中は、食器などが足の踏み場もないくらいこわれ、とても家の中に入れる状態ではありませんでした。家族で相談し、車で一晩を過ごすことになりました。朝、起きた時に、家中を片付けようと思っていると、「双葉町の人は川俣町に避難しない」と言われ、私たち家族は意味も分からずに双葉町を出ました。川俣町に避難しても双葉に帰ることができなくて、とてもいやでした。何日かたった日に「双葉町役場の方からもう外に出てはいけません。」とも言われました。そうなると車の中に入っていた犬の世話ができなくなるので、仕方なく埼玉の川越市の親せきの家に避難することになりました。その後、双葉の人は旧騎西高校が避難所となり、私は、双葉の友達と一緒に学校に通いたくて、騎西のアパートに移りました。

今は騎西小学校の先生や双葉の先生、友達に囲まれ、仲の良い友達もでき、学校生活がとても楽しいです。騎西小学校の校門を初めてくぐった時は、不安や緊張でいっぱいでした。双葉町から来たということで、放射能物質がついていると、いじめられるのではないか。埼玉の勉強についていけるどうか。などいろいろ悩みました。声をかけてくれて、「一緒に帰ろう。」「一緒に遊ぼう。」とやさしく接してくれました。おかげで不安と緊張が少しずつ無くなづきました。これならば騎西小学校での生活が「楽しくなるかな。」と思いました。

そう思い始めた六月上旬に修学旅行がありました。修学旅行の一日目は、五人の友達グループの班行動でした。どのように目的地に行くかとも悩みました。「うちに行くんだよ。」「そちじゃないよ。」と意見が分かれ、もめることがありました。

りました。しかし、お互ひを尊重しながら、助け合つて行動し、楽しい旅行となりました。その夜には、友達とおしゃべりをしながら過ごしました。好きな話を

男の子の話、怖い話など、今までに友達に話したことがないような話をしました。友達と一緒に夜を過ごすことはめったになかったので、とてもよい思い出になりました。そして、騎西小学校で本当に親しい友達をつくれたような気がしました。修学旅行での最大の収穫です。

夏休みには、双葉町の小中学校再開の集いがあり、五ヶ月ぶりに双葉の同級生に会いました。そこで私は騎西小学校の友達のことをたくさん話していました。そして、騎西小学校でたくさんの友達がでました。そこで、改めて気

がつきました。

夏休みには、双葉町の小中学校再開の集いがあり、五ヶ月ぶりに双葉の同級生に会いました。そこで私は騎西小学校の友達のことをたくさん話していました。そして、騎西小学校でたくさんの友達がでました。そこで、改めて気

がつきました。

私たちのクラスでは、今月の生活目標を、「笑顔忘れずに!」と決めました。私は、これを見たとき、「笑顔を忘れるなんてあるわけないよ。」と思っていました。でも、この生活目標の本当の意味が分かることができました。

次日の朝、通学路には、おばあさんが立ち、笑顔で「おはよう」と挨拶をしてくれました。私は、おばあさんに、向かって進んでいく

母が、こんな話をしてくれました。そこで、母からいくつかの手話を教えてもらいました。でも、手話を動きはたくさんあります。手話をできなくとも、あなたが笑うことでも、気持ちを伝えられることがあります。おばあさんが笑つてくれたら、笑顔で「おはよう」と挨拶をしてくれました。でも、これは通じると思うよ。おばあさんが笑つてくれたよ。難しかもしれないけれど、私の気持ちをおばあさんに、笑顔で伝えてみようと思いました。おばあさんには、おばあさんにとって、おばあさんには、こうと笑顔のあいさつをしてみました。すると、おばあさんからも、笑顔のあいさつが返ってきました。母が言つたように、私の笑顔の「おはよう」が通じたのです。

### 笑顔で「おはよう」

五年 齋藤 葵



私たちのクラスでは、今月の生活目標を、「笑顔を忘れずに!」と決めました。私は、これを見たとき、「笑顔を忘れるなんてあるわけないよ。」と思っていました。でも、この生活目標の本当の意味が分かることができました。

私は、おばあさんに、「おはようございます。」と、あいさつをしたかったけれど、おばあさんは耳が聞こえないということを知つたので、どうしたらいいかわからいでいました。聞こえない人に、「おはようございます。」と話しかけるのは、失礼なのかなども思つていました。ただ、おばあ

六年生の板倉美桜さんは、一月二十九日（土）、行田市教育文化センターで北埼玉地区人権教育研究集会が開催され、その全体会の中で作文を発表しました。素晴らしい内容と落ちている

作文コンクールで佳作に入賞しました。双方の作文とも相手に対する思いやりがあふ